能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況

能代市 企画部 総合政策課

令和元年10月

目 次

基本目標 1 地域における安定したしごとの創出	
(1)地域産業の活性化の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(ア) 新エネルギー等関連産業の創出	
(a)関連産業の創出と育成	
(b) 水素エネルギーの研究	
(イ)企業誘致及び企業活動への支援等	
(a)企業誘致の推進	
(b) 能代港の利活用促進	
(ウ)商工業の振興	
(a)既存企業の維持拡大	
(b)まちのにぎわいの創出	
(c)起業等の促進	
(d)人材の確保・就職支援	
(エ)農業の振興	
(a)野菜ランド能代の推進	
(b)水田農業の再構築	
(c)農産物の高付加価値化と流通販売の促進	
(d)担い手育成と新規就農者の促進	
(才)林業、木材産業の振興	
(a)木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立	
(b)林業生産の効率化	
(c)地場産材の消費拡大	
(2)地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大 ・・・・・・・・・・・・・	7
(ア)市内外へ魅力のPR	
(イ)地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利活用	
(ウ)交流が広がるイベントや行事への支援	

基本目標 2 少子化対策	
(1)脱少子化に向けた市民意識の醸成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
(ア)結婚、出産、子育てに関する意識の醸成	9
(2)結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化 ・・・・・・・・・	10
(ア)出会いの機会の提供	10
(イ)安心して出産・子育てできる環境の充実	
(a)不妊治療等に対する支援の推進	
(b)子どもを生み育てるサポート体制の充実	
(ウ) 子育で世帯の経済的負担の軽減	
(エ) 子育でと仕事の両立支援	
(a)安心して預けられる保育環境の整備	
(b)企業等による子育て支援の促進	
· / _ · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
(オ)子育てを地域で支援する仕組みづくり (3)次伏を担うるよくのは馬声塔	12
(3)次代を担う子どもの成長支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(ア) きめ細かな教育の推進 (-) とろされ教育の推進	
(a)ふるさと教育の推進 (h)名様なニーブに対応した教育の推進	
(b)多様なニーズに対応した教育の推進	

基本目標3 移住・定住対策	
(1)首都圏等からの移住の促進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
(ア) 地域の情報発信と受け入れ体制の整備	
(a)移住情報の発信と収集	
(b) 移住者の受け入れ体制整備	
(イ)多様なニーズに対応した移住促進	
(ウ) 本市出身者のUターンの促進	
(2)若者の定住の促進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
(ア)高校卒業者等の定住及び大学卒業者等のUターンの促進	
(3)地元への愛着をはぐくむ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
(ア) 子どもたちによるふるさとの発見	
(イ)シティセールスによる市の魅力再発見	
(ウ) 特色あるまちづくり	
基本目標4 新たな地域社会の形成	
(1)広域的な視点での地域社会の形成 ・・・・・・・・・・・・・・・・	17
(ア)能代山本地域の連携	
(2) 地域社会の維持・活性化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
(ア) 地域コミュニティの維持	
(a)自治会等への支援	
(b) 地域づくりの促進	
(イ)防災への対応強化	
(ウ)地域公共交通の維持・確保	
(エ)若者、女性、高齢者の活躍支援	
(a)若者の活躍支援	
(b) 女性が活躍できる環境づくり	
(c) 健康で元気な高齢者の活躍促進	
(3)安全・安心な暮らしを守る環境づくり ・・・・・・・・・・・・・・・	21
(ア)既存インフラのマネジメント強化	

数值目標·重要業績評価指標(KPI)達成状況集計表

基本目標		27年度	28年	F 度	293	丰度	30£	F 度
		27牛皮		前年比		前年比		前年比
	順調	19	19	0	20	1	18	▲ 2
1 地域における安定した	横ばい	6	6	0	5	▲ 1	6	1
しごとの創出	不 調	5	4	▲ 1	4	0	2	▲ 2
	その他	0	1	1	1	0	4	3
	順調	9	8	▲ 1	8	0	9	1
2 少子化対策	横ばい	4	8	4	9	1	2	A 7
2 少于化对汞	不調	1	0	▲ 1	0	0	5	5
	その他	2	0	▲ 2	0	0	1	1
	順調	9	6	▲ 3	6	0	8	2
3 移住·定住対策	横ばい	2	5	3	5	0	3	▲ 2
3 移住"足住对束	不調	1	1	0	1	0	1	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	順調	7	9	2	10	1	9	▲ 1
4 新たな地域社会の形成	横ばい	9	5	4	5	0	4	1
4 新たな地域社会の形成	不調	0	3	3	2	▲ 1	4	2
	その他	1	0	1	0	0	0	0
	順調	44	42	▲ 2	44	2	44	0
	横ばい	21	24	3	24	0	15	A 9
合 計	不調	7	8	1	7	▲ 1	12	5
	その他	3	1	<u> 2</u>	1	0	5	4
	計	75	75	0	76	1	76	0
	順調	4	3	1	2	▲ 1	3	1
	横ばい	0	2	2	3	1	1	▲ 2
重複している指標	不調	0	0	0	0	0	1	1
	その他	1	0	1	0	0	0	0
	計	5	5	0	5	0	5	0
	順調	40	39	1	42	3	41	1
	横ばい	21	22	1	21	▲ 1	14	A 7
実 数	不調	7	8	1	7	1	11	4
<i>x</i>	その他	2	1	1	1	0	5	4
	計	70	70	0	71	1	71	0

^{※27}年度の「その他」は、28年度から集計を開始したため「未確定」とした項目。 28~30年度の「その他」は、基礎データの変更により基準値との比較ができなくなり、「評価不能」とした項目。

数値目	標	(1)市の施策に関する雇用創出数 (5カ年累計)									
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位		
26年原	茰	ı	35	69	103	126		87	人		
150 _T			103	1 <u>2</u> 6	推	移の分析・	考えられる要	因	達成状況		
75 -		35	69	87	が平成30年	度までに8社	なった新設・± ±あり、28人の ヾ33人、新規	の新規雇用	順調		
o ‡	■ 基準	值 H27 H	28 H29 I	H30 R1	人であったこ		D施策に関す		(^-^)		

- (1)地域産業の活性化の推進
- (ア)新エネルギー等関連産業の創出
- (a)関連産業の創出と育成

KPI	(2)再生可能	能エネルギー	-自給率					
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	7.0	7.2	8.1	13.3	13.7		19.0	%
20.0		12 2 13	.7	推	移の分析・お	考えられる要	因	達成状況
10.0 7.0 10.0 基準		13.3	19.0	平成29年途 カ所)が、1 ⁴ とどまった。				横ばい ()

KPI	(3)風力発電による導入量										
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位			
26年度	19,580	23,560	62,660	62,660	62,660		117,000	kW			
200,000 —			117,000			考えられる要		達成状況			
0 —	9,580 23,560	2,660 62,660 6	2,660 -●	能代港にお 業の商業運 が、同事業に 想定外の課 4年度の稼	転開始による は国内で最も 題解決が必	る増加を見込 先行する事 要となり、現	へでいた 例のため、	横ばい ()			

(b)水素エネルギーの研究

KPI	(4)戦略期間内での研究会等の設置										
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位			
26年度	-	l	1	1	1		1	件			
2						考えられる要		達成状況			
1 0 基準信	1 0 ———— i H27 H2	1 8 H29 H	1 1 1 30 R1	平成28年度 ため能代市 ネルギー研	次世代エネル	レギー研究会		順調 (^-^)			

(イ)企業誘致及び企業活動への支援等

(a)企業誘致の推進

KPI	(5)新設、增	曾設企業数	(5力年累計)				
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	I	2	4	8	8		5	件
10		_ 8	8	推	移の分析・る	考えられる要	因	達成状況
5 ————————————————————————————————————	4 2 直 H27 H2		30 R1	平成30年度 た。	は、企業の新	新設・増設と	もになかっ	順調 (^-^)

(b)能代港の利活用促進

KPI	[(6)能代港の取扱い貨物量(能代火力発電所専用桟橋を除く)										
基準年(度	(E) 基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位			
26年度	397,621	353,655	307,162	342,566			571,000	トン			
800,000 -			571,000	推	移の分析・る	考えられる要	因	達成状況			
400,000 -	397,621 353,6	342,566						※未確定			
0 -	30	07,162									
	基準値 H27	H28 H29	H30 R1								

(ウ)商工業の振興

(a) 既存企業の維持拡大



(b)まちのにぎわいの創出

(0) 00 0	0710	- C 176・07 后」	<u>н</u>						
KPI		(8)歩行者、	. 自転車通行	量					
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年月	茰	3,936	3,967	3,579	3,594	3,497		5,218	人
10,000 -					推	移の分析・お	きえられる要	因	達成状況
5,000 -	3,9	936 3,967 _{3,}	579 3,594 3	5,218 3,497	金融機関や 通行量は減			等の結果、	横ばい
0 -	基準	上 基値 H27 F	H28 H29	H30 R1					()

KPI	(9)空き店舗	浦の利活用件	‡数 (5力年	累計)				
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	1	3	8	15	17		10	件
20		15	17	推	移の分析・る	考えられる要	因	達成状況
10 基準	8 3 i直 H27 H2		10 	新規創業者 り、利活用作	向けの各種 ‡数が増加し)連携によ	順調 (^-^)

(c)起業等の促進

KPI	(5)新設、增	曾設企業数	(5力年累計)(再掲)				
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	-	2	4	8	8		5	件
10		_ 8	3			考えられる要		達成状況
5 基準係	4 2 直 H27 H2	8 H29 H	30 R1	平成30年度 た。	は、企業の新	新設・増設と	もになかっ	順調 (^-^)

KPI	(10)創業者数 (5力年累計)											
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位				
26年度	-	8	20	28	33		30	人				
40		28	33 30		移の分析・る			達成状況				
20 人	8 8 i H27 H2		130 R1	業への不安	窓口や創業 が小さくなり たと考えられ	、実際に創業		順調 (^-^)				

(d)人材の確保·就職支援

(四)八百00年 (1)004 (八百)											
KP	ľ	(11)新規章	学校卒業者就	忧職率(能代↓	山本)						
基準年	(度)	基準値									
26年	度	41.5	41.5 36.9 39.4 44.1 44.4 50.0								
100.0	T				推	移の分析・る	考えられる要	因	達成状況		
50.0	41.5	5 36.9 39.4 44.1 44.4 ^{50.0} 平成29年度から30年度の推移を見ると、県内の 新規高卒者就職内定率が減少する中、管内の 就職率は増加している。デュアルシステム・企業							順調 (^_^)		
0.0	基準化	i <u></u> H27 H	PR事業などにより地元就職の意識が高まった H27 H28 H29 H30 R1 と考えられる。								

(エ)農業の振興

(a)野菜ランド能代の推進

·=-/ 27 2/ 2	,, <u></u> , ,, ,	=										
KPI	(12)戦略化	2) 戦略作目5品目の生産出荷額										
基準年(度	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位				
26年度	1,110	1,426	1,665	1,758	1,831		1,500	百万円				
2,500		1.758 1	,831	推	移の分析・ネ	考えられる要	因	達成状況				
500	1,500 1,426 1,665 1,500 1,500 1,500 1,500 下候等により変動があるが、ネギを中心に出荷数量が増加し、単価も堅調に推移したことから、5品目合計の出荷額は増加した。また、農産物											

(b)水田農業の再構築

	木の石油木										
KPI	(13)30a以	3)30a以上区画のほ場整備率									
基準年(度)	基準値										
26年度	60.6	61.3	62.1	64.5	66.5		64.2	%			
70.0	61.3 62		64.2	推	移の分析・る	考えられる要	因	達成状況			
60.6 60.0 50.0 基準化			30 R1	ほ場整備事いる。	業(区画整理	里)が順調に	進められて	順調 (^-^)			

KP	I	(14)一等爿	长比率						
基準年	(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年	度	93.0	96.9	93.6	94.8	95.2		93.0	%
100.0 -		96.9	04.0	95.2		,, ,, ,	考えられる要		達成状況
95.0 - 90.0 -	93.0	93	3.6	93.0		こものの、カス		果的防除に	順調 (^-^)
30.0	基準値	直 H27 H	28 H29	H30 R1					

KPI	(15)食味何	直						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	71.1	75.0	75.0	75.9	74.5		77.0	
80.0			77.0	推	移の分析・る	考えられる要	因	達成状況
75.0 71.1 70.0 基準			1.5	農家の適正下旬以降の値が低下した	天候不順に	より、小粒と		順調 (^-^)

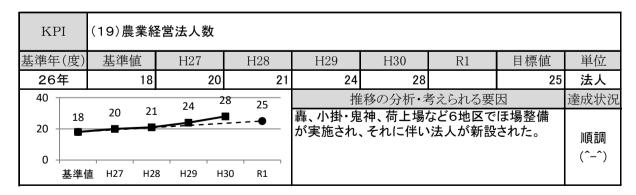
(c)農産物の高付加価値化と流通販売の促進

KI	PI	(16)均	6) 地産地消協力店数									
基準年	F(度)	基準	値	H27		H28	H29	H30	R1	目標値	単位	
26 [±]	丰度		41		41	46	56	58		60	店	
100				56	58	8 60			考えられる要		達成状況	
50	41	41	46	36		<u>+ ●</u>	市ホームペートでは、店マップの配規店舗が増	記布により、「			順調 (^-^)	
	基準値	<u>1</u> H27	H28	B H29	H30	0 R1						

KPI	(17)農産物	7) 農産物直売所の売上げ										
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位				
26年度	219,390	238,555	249,506	250,779	411,959		356,467	千円				
500,000			11,959	推	因	達成状況						
0 +	19,390	250,779 19,506 H28 H29	356,467 H30 R1	道の駅ふた 店舗数増加 り、売り上げ	のほか、各国	直売所ごとの		順調 (^-^)				

(d)担い手育成と新規就農者の促進

			-										
KPI	(18)担い手	3)担い手農地集積率(個人・集団を含む) 5準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値 単位											
基準年(度)	基準値												
25年度	54.9	56.1	57.7	58.3	61.9		64.9	%					
70.0	EG 1 57.	7 58.3 ⁶¹	1.9	推		考えられる要		達成状況					
60.0 54.9 50.0 40.0	56.1 57.			新設法人と積が増えた		者の増加に伴 積率も増加し		順調 (^-^)					
基準値	<u>首</u> H27 H2	8 H29 H	30 R1										



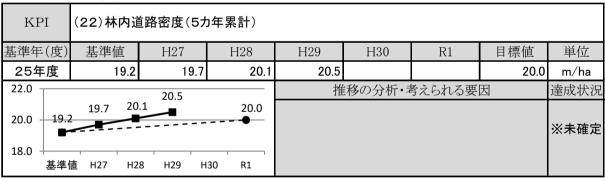
KPI	(20)新規勍	(20)新規就農者数(5力年累計)										
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位				
26年度	-	18	36	56	65		38	人				
100		56	55	推	移の分析・る	考えられる要	因	達成状況				
50 — 基準	18 18 値 H27 H2		38 38 30 R1	国の「農の原資事業」の流たと考えられ	舌用等により	活用や、「次 、新規就農者	世代人材投 皆数が増え	順調 (^-^)				

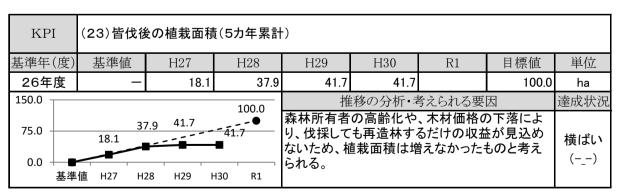
(オ)林業、木材産業の振興

(a)木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立

(4)//(4)/	ことエルしか	1A-6 / 1	ニスコルいしてこれが	未	CO2 HE			
KPI	(21)木材製	製品出荷額						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
25年度	14,013	13,976	9,001	8,645			15,000	百万円
20,000	,013 13,976		15,000	推	移の分析・ネ	考えられる要	因	達成状況
15,000		001 8.645						
10,000	3,	001 8,645						※未確定
5,000	1 1							
基	準値 H27 H	H28 H29	H30 R1					

(b) 林業生産の効率化





KPI	PI (24)秋田林業大学校本市出身研修生 (5力年累計)											
基準年(度)) 基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値											
26年度	_	_	1	2	2		5	人				
10				推	移の分析・	考えられる要	因	達成状況				
5 0 基準	0 1 	2 8 H29 H	5 30 R1	毎年1名超(助制度をPF なかった。	の入校を目打 Rしているが、	指して市内各 、平成30年度	高校等に補 Eの入校は	横ばい ()				

(c)地場産材の消費拡大

VENT DIAL LINE VILLE VIL												
KPI	(25)木の音	まちづくり推進	售事業利用件	-数								
基準年(度	(E) 基準値											
26年度	29	53	40	30	27		60	件				
100	F2				,, ,, ,,	考えられる要		達成状況				
50	53 4(29	30		平成27年度 から前年を 着工件数の	大幅に上回っ	oたが、以降(は新規住宅	不 調 (>_<)				
奉:	準値 H27 H2	8 H29 H	30 R1									

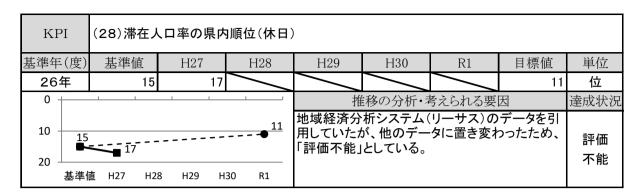
(2)地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大

(ア)市内外へ魅力のPR

KPI	(26)能代市	うの観光・物	産・宿泊・交流	通情報に関係	系するホーム	ページへのこ	アクセス数				
基準年(度)	基準値										
26年度	10,273	8,956	6,035	6,921	10,388		30,000	件			
40,000			30,000		移の分析・オ			達成状況			
20,000	,273 _{8,956}	6,035 ^{6,921}	 0,388 -■	普及等によりよるものと考		kの検索が増 目標値を下回	曽えたことに]った要因	横ばい ()			
0 ↓基	よるものと考えられる。目標値を下回った要因は、観光関係の情報発信元充実により、アクセルス先が分散したためと考えられる。										

(イ)地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利活用

KPI	(27)豊かた	な自然や特色	ある郷土料	理など、他に	誇れる観光	資源があると	:思う市民の	割合
基準年(度	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	41.5	40.8	40.6	41.8	37.5		60.0	%
100.0				推	移の分析・ネ	考えられる要	因	達成状況
0.0		-	37.5 €0.0 	阪などの豊かに溶け込ん していると考	かな自然は、 でおり、観光 えられる。/)郷土料理も	公原、米代川 , 市民にとっ ⁻ 資源という意)タハタ、きり 」同様に、特別	て日常の中 意識が希薄 たんぽ・だ	不 調 (>_<)



(ウ)交流が広がるイベントや行事への支援

KPI	(29)観光容	F入 込客数						
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	1,741,141	1,656,159	1,564,437	1,497,605	1,755,727		1,800,000	人
2,000,000	1,741,141 1	,564,437	1,800,000			考えられる要		達成状況
1,500,000	1,656,159		755,727	平成30年8 り込み客数7			こついの入	順調
1,000,000	基準値 H27	H28 H29	H30 R1					(^-^)

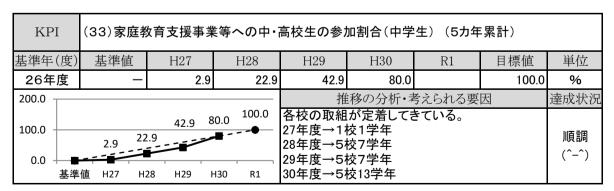
数値目標	(30)合計特	O)合計特殊出生率											
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位					
25年度	1.24	1.31	1.33	1.41			1.55	_					
2				推	移の分析・	考えられる要	因	達成状況					
1.5 — 1.22 1 — 基準化	_		1.55 					※未確定					

数値目標	(31)婚姻数	坟						
基準年	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
25年	163	164	175	158	128		200	件
300 163 150 基準		136 _ 1	200 228 •	秋田県全体 も減少に転	移の分析・までは年々減じている。女化などが影響	少傾向にある 性の転出増	る中、本市 や未婚率の	達成状況 不調 (>_<)

(1)脱少子化に向けた市民意識の醸成

(ア)結婚、出産、子育てに関する意識の醸成

KPI	(32)子ども	32)子どもを生み、育てやすいと感じる市民の割合												
基準年(度)	基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値													
26年度	-	ı	27.1	27.4	24.5		60.0	%						
100.0			60.0					達成状況						
50.0	0													



KPI	(33)家庭教	(育支援事業	等への中・福	高校生の参加	□割合(高校	生)				
基準年(度)	基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値									
26年度	4.6	3.8	5.6	7.7	7.0		15.0	%		
20.0	-		15.0	推	移の分析・	きえられる要	因	達成状況		
10.0 4.6		7.7			業もあったた	3程が合わる :め昨年度よ		横ばい ()		

(2)結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化

(ア)出会いの機会の提供

		** X	, -									
Kl	ΡΙ	(34)a	らきた	結婚支援	セン	/ター入会者	皆数(5力年 累	は計)				
基準年	F(度)	基準	基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値 単位									
26年	丰度		119 142 169 205 232 194									
400	T				232		推	移の分析・	考えられる要	因	達成状況	
200	0 119 142 169 205 232 194						平成30年度 成を受けて			会登録料助こいる。	順調 (^-^)	
Ů	基準値	<u> </u>	H2	8 H29	H30) R1					, ,	

(イ)安心して出産・子育てできる環境の充実

(a) 不妊治療等に対する支援の推進

(4,7 74	-711 //	C 13 1 - 2.	, , ,		E ~						
KPI		(35)不	妊治	治療費助	成制	度利用件数	t .				
基準年((度)	基準	直	H27		H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年月	度		44		67	57	62	68		53	件
100 —		67	57	62	68			移の分析・			達成状況
50 — 0 —	44 上 基準値	H27	H2:		H30	53 	成30年度か	理解・周知が ら不育症治: 件数が増えが	療費の助成	も追加した	順調 (^-^)

(b)子どもを生み育てるサポート体制の充実

· / • -	(は)」ともとエが育でもケバート評価の元久												
KPI		(36)子育で	支援センタ	一利用者数									
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位				
26年原	叓	7,565	9,012	9,313	10,146	10,057		7,900	人				
12,000 -			10,146 ¹	0,057	推	移の分析・	考えられる要	因	達成状況				
10,000 -	\vdash	9,012		7,000	子育て支援								
8,000 -		9,	313		報等で知り、 いる。繰り返				順調				
6,000 -	7,5	565	1 1	ı	しているが来りた	2011/11/7 0	73 03 (36.5)	10.000	(^-^)				
	基準	準値 H27 ⊢	H28 H29	H30 R1									

KP	Ί	(37)妊婦-	−般健康診査	企受診率					
基準年	(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年	度	86.8	87.9	100.0	89.3	88.5		100.0	%
100.0					推	移の分析・オ	考えられる要	因	達成状況
90.0	86.	8 87.9 10	89.3	8.5 100.0	転出・流産等 未受診者は		であり、実質	動な健診	(横ばい ()
80.0	基準	值 H27 H2	28 H29 H	H30 R1					順調 (^-^)

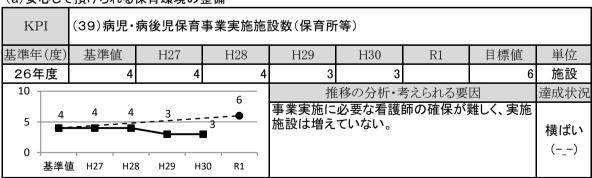
KPI	(32)子ども	32)子どもを生み、育てやすいと感じる市民の割合 (再掲)												
基準年(度)	基準値													
26年度	_	-	27.1	27.4	24.5		60.0	%						
100.0			60.0	推	移の分析・オ	考えられる要	因	達成状況						
50.0		60.0 27.4 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.1 27.												

(ウ)子育て世帯の経済的負担の軽減

KPI	(38)子育で	38)子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合												
基準年(度)	基準値													
26年度	25.3	26.0	26.6	26.2	20.7		35.0	%						
40.0	26.0 26.	6 26.2		推	移の分析・オ	考えられる要	因	達成状況						
20.0 25.3					援事業や「めあう雰囲気が		業」等により をしていきて	不 調 (>_<)						

(エ)子育てと仕事の両立支援

(a)安心して預けられる保育環境の整備



KPI	(40)放課後	40) 放課後児童クラブ (留守家庭児童会)のクラス数 基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値 」											
基準年(度)	基準値												
26年度	11	9	11	11	14		15	クラス					
20	11	11	15	推	移の分析・	考えられる要	因	達成状況					
11 10 基準化	9 11 	8 H29 H	30 R1	向能代小学新設した。	区2クラス、	ニツ井小学に	⊠1クラスを	順調 (^-^)					

(b)企業等による子育て支援の促進

(0/11/2	/正未寺による丁月に文版の促進													
KP	Ί	(41)ガ	マ世代	だ育成支持	爱対	策推進法に	基づく一般	事業主行動詞	計画の策定値	牛数				
基準年	(度)	基準	基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値											
26年	度		24		24	24	29	34		26	社			
40				29	34			移の分析・る			達成状況			
20 -	24	24	24			26	定率は1009	ある従業員 %となってい。 下の企業によ る。	る。努力義務	多となってい	順調 (^-^)			
	基準値	恒 H27	H28	3 H29	H30) R1								

(オ)子育てを地域で支援する仕組みづくり

KPI	(38)子育で	8)子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合 (再掲)												
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位						
26年度	25.3	26.0	26.6	26.2	20.7		35.0	%						
40.0	26.0 26.		•		移の分析・			達成状況						
20.0 20.0 基準(35.0 35.0 R1	る子育て支 地域で支え	育て支援セン 援事業や「め あう雰囲気が れるが、数値	んchoco事 が徐々に浸透	業」等により をしていきて	不 調 (>_<)						

(3)次代を担う子どもの成長支援

- (ア)きめ細かな教育の推進
- (a)ふるさと教育の推進

KPI	(42)地域0	つ行事に参加	している児童	童・生徒の割	合			
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	61.0	65.1	69.3	62.3	65.8		70.0	%
80.0	69	.3 _	70.0		移の分析・			達成状況
70.0 60.0 50.0 基準		02.3	5.8 130 R1	育など地域	学校ともにふ と関わる活動 以上の参加	かを充実させ		順調 (^-^)

(b) 多様なニーズに対応した教育の推進

(ロ) 多様な――へに対応した教育の推進														
KPI	(43)5歳児	43)5歳児親子相談参加率												
基準年(度)	基準値													
26年度	92.3	92.3 93.2 97.3 96.6 98.2 93.0												
100.0	9	Z.3 96.6 S	2 2		移の分析・る			達成状況						
95.0	2.3 93.2		93.0		から事業を									
90.0					推園等に、事 きたことが増			順調						
85.0		1 1		E MACALL CO	C/CC/J/+8	加い安凶と	らんる。	(^-^)						
基準	i值 H27 H2	28 H29 I	H30 R1											

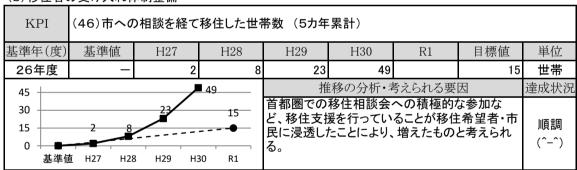
基本目標3 移住 定住対策

数値目	標(44)市か	44)市からの転出、転入増減数												
基準年((度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位						
26年	Ξ	△ 292	△ 175	△ 279	△ 238	△ 285		△ 120	人						
0 -		1 1	1 1	Δ 120		移の分析・ネ			達成状況						
△ 200 - △ 400 -	△ 292		△ 238 △ 279	× 285 - ••		に比べ、転b 者が少なか [、] 、1,135人 転	った。	きもののそれ	不調 (> <)						
	基準値	直 H27	H28 H29	H30 R1					(/_()						

- (1)首都圏等からの移住の促進
- (ア)地域の情報発信と受け入れ体制の整備
- (a) 移住情報の発信と収集

(4) 12 14 111	放り元日こか	1717						
KPI	(45)移住村	目談件数 (5	5カ年累計)					
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	_	31	85	185	281		350	件
					€移の分析・ネ			達成状況
0 基準	85 31 	185	81 350 30 R1	に積極的に	や市の相談 とのほか、首 参加している ものと考えら	都圏等でのことにより、	移住相談会	順調 (^-^)

(b)移住者の受け入れ体制整備



(イ)多様なニーズに対応した移住促進

	(1/シボるー ハに対応じた形圧											
KF	ΡI	(20)新	規勍	農者数	(5	力年累計)	(再掲)					
基準年	(度)	基準値	直	H27		H28	H29	H30	R1	目標値	単位	
26年	F度		_		18	36	56	65		38	人	
100 -				56	6	5	推	移の分析・ネ	考えられる要	因	達成状況	
50 -		18	36			- • 38	国の「農の原資事業」の流たと考えられ	舌用等により			順調 (^_^)	
	基準値	i H27	H28	H29	Н3	30 R1					` /	

基本目標3 移住 定住対策

KPI	(47)移住位	(47)移住体験参加世帯数 (5カ年累計)											
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位					
26年度	0	l	5	10	17		20	世帯					
40					移の分析・ネ			達成状況					
20 0 基準値	0 5 0	10	7 20 1 0 30 R1		とのほか、首 参加している	都圏等での	移住相談会	順調 (^-^)					

(ウ)本市出身者のUターンの促進

1 7 7 7 7 1	121 11 11 11	17010												
KPI	(48)移住村	(48)移住相談件数のうちUターンした世帯数 (5カ年累計)												
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位						
26年度	_	1	5	11	24		12	世帯						
40			24	推	き移の分析・	考えられる要	因	達成状況						
20 基準	1 5 ————————————————————————————————————	11	12 	首都圏での住支援を行浸透したこと	っていること		者・市民に	順調 (^-^)						

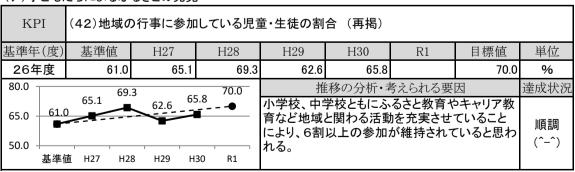
(2)若者の定住の促進

(ア)高校卒業者等の定住及び大学卒業者等のUターンの促進

11 11 11 11 11													
KPI	(49)市内居住による奨学金の返還支援件数												
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位					
26年度	7	12	15	19	24		45	人					
50			- •			考えられる要		達成状況					
25 7 7 基準	112 12 直 H27 H2		45 30 R1			者ともに増え [、] 々に出てきて		横ばい ()					

(3)地元への愛着をはぐくむ

(ア)子どもたちによるふるさとの発見



基本目標3 移住・定住対策

(イ)シティセールスによる市の魅力再発見

(1/2/10		のこうなどほうして	17070										
KPI	(50)市ホームページモバイルアクセス数												
基準年(度)	基準値	基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値											
26年	161,011	204,667	216,987	281,794	328,371		351,000	件					
400,000 —		-	28,371			考えられる要		達成状況					
100,000	204,667	16,987 281,794 H28 H29	351,000 H30 R1	パソコンでの れるスマート クセス数が ¹	マステン等通信	iけでなくいっ 言機器の増加		順調 (^-^)					

(ウ)特色あるまちづくり

<u> </u>	70072-17							
KPI	(51)バスク	rの街を他に	誇れると思う	市民の割合				
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位
26年度	38.6	39.8	36.8	39.8	38.0		50.0	%
100.0				推	€移の分析・ネ	考えられる要	因	達成状況
50.0 38	H		8.0 50.0 8.0 R1	らスタートしは「バスケかているが、† スケットボー えられる。こ スケに関す	スケの街づく 、各種取組を 「強い高校が 「民意識の面 ・ルことにより る情報(景観 ることが要因	進めており、 ある街」とし では、能代 も影響してい 、日々の生活 含めて)に触	対外的に 対外的に 大認識され 工業高校バ るものと考 舌の中でバ れる機会が	横ばい ()

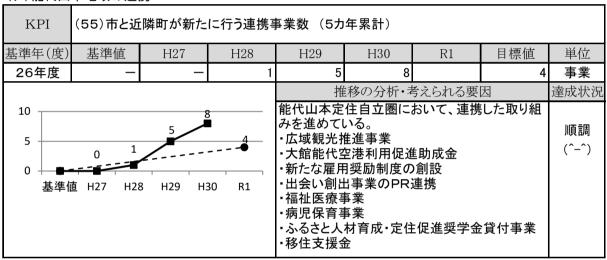
KPI		(52)能代/	52)能代バスケミュージアム来館者数												
基準年(度)	基準値													
26年原	茰	4,502	3,715	3,699	4,059	4,581		5,000	人						
10,000 -					推	移の分析・ネ	考えられる要	因	達成状況						
5,000 -	4,5	推移の分析・考えられる要因 1,502 3,715 3,699 4,059 4,581 5,000 →													
0 -	基準	i值 H27 H	128 H29	H30 R1					(^-^)						

KPI	(53)のしろ	銀河フェステ	・イバル来場	者数					
基準年(度)	基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値								
25年度	3,321	3,527	3,076	2,394	2,806		4,000	人	
5,000 3,32	3,527 3.0	176		推	€移の分析・ネ	考えられる要	因	達成状況	
2,500	3,0	2,394	4,000		は1日開催だが長くなった			横ばい ()	
基準	值 H27 H2	28 H29 H	130 R1						

数値目	標	(54)このま	54)このまちが住みやすいと感じる市民の割合												
基準年	(度)	基準値	基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値												
26年	度	1	_	52.5	51.2	46.7		80.0	%						
100.0 -			F	Ω.08	推	移の分析・る	考えられる要	因	達成状況						
50.0 -		0	.5 51.2 4	6.7	施策を拡大	してきている	等、住みやす と同時に、住 ていることが	民ニーズも	横ばい						
0.0	基準	 	28 H29 F	130 R1	る。	22 18/180	3-2%	3.23.10	()						

(1)広域的な視点での地域社会の形成

(ア)能代山本地域の連携



- (2)地域社会の維持・活性化
- (ア)地域コミュニティの維持
- (a) 自治会等への支援

K	ΡΙ	(56)公	·民館	等利用和	当割台	<u></u>						
基準年	F(度)	基準値	基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値									
264	年度	2	20.0	1:	9.4	21.8	21.7	19.7		20.0	%	
40.0			24.6	2 21 -			推	移の分析・お	考えられる要	因	達成状況	
20.0	20.0	19.4	21.8	8 21.7	19.7		利用者数、対 者の割合は る。				順調 (^-^)	
0.0	基準値	<u> </u>	H28	H29	H30	R1					` ,	

KPI	(57)自治会	57)自治会·町内会数										
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位				
26年度	347	346	350	349	349		345					
354	350	0		推	移の分析・る	考えられる要	因	達成状況				
349 347	346	349 3	49 345 	現在の自治た。	会、町内会で	で状況に変化	こがなかっ	順調 (^-^)				
基準信息	直 H27 H2	8 Н29 Н	30 R1									

KPI	(58)自治会	58) 自治会、町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合 基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値 単位												
基準年(度)	基準値													
26年度	36.5	34.7	35.4	37.3	32.0		50.0	%						
100.0				推	移の分析・オ	考えられる要	因	達成状況						
50.0 36. 0.0	5 34.7 35	.4 37.3 3	50.0	高齢化に伴にあることにえる。				不 調 (>_<)						
基準	值 H27 H2	28 H29 I	H30 R1											

(b)地域づくりの促進

K	ΡΙ	(59)市	59)市民まちづくり活動支援事業応募件数 												
基準年	F(度)	基準	基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標値												
264	年度		7		9 8 8 9 10										
20	Т						推	移の分析・る	考えられる要	因	達成状況				
10	7	9	8	8 	9	10		継続した事業の取り組みにより、同補助制度の 認知度が向上してきたと考えられる。							
	基準値	i H27	H28	H29	H30	R1					` '				

(イ)防災への対応強化

(1) 1932	の別心鬼化												
KPI	(60)消防団	60)消防団員充足率											
基準年(度)	基準値												
26年度	83.9	83.8	82.7	83.2	81.9		93.8	%					
100.0	_	- 00 0	93,8	推	移の分析・君	考えられる要	因	達成状況					
90.0 80.0 70.0 基準			11.9 T1.9	いった地域ね の加入が思	若年層の減ら社会の状況の 対会の状況の うように進まり、定年も含い。	D変化により ない状況にる	、一般団員 ある。入団	不調 (>_<)					

KPI	(61)自主队	(61)自主防災組織数											
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位					
26年度	3	5	5	21	157		12	自治会					
160			157			考えられる要		達成状況					
110 60 10 -40 基準	5 5 - ■ - ■ 直 H27 H2	21 8 Н29 Н		出前講座な的に行った。		関する情報提	ẻ供を積極	順調 (^-^)					

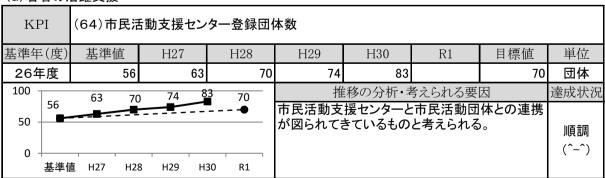
(ウ)地域公共交通の維持・確保

(ファージコンへ)をマッルには、おにいて												
KPI	(62)路線/	(62)路線バス等の利用者数										
基準年()	g) 基準値 H27 H28 H29 H30 R1 目標(目標値	単位					
26年度	年度 330,170 326,470 299,488		290,935	257,494		330,000	人					
500,000	226 470		330,000	推	達成状況							
300,000	326,470	290,935				、自動車の普	音及により					
300,000	330,170 29	30,170 299,488 35		減少傾向が	続いている。			不調				
100,000 257,494			257,494					(>_<)				
	基準値 H27 I	H28 H29	H30 R1									

KI	ΡΙ	(63)巡回バスの1便平均利用者数 (市街地巡回バス『はななす号』及び向能代・落合地区巡回バス『しののめ号』)										
基準年	(度)	基準	値	H27		H28	H29	H30	R1	目標値	単位	
26年	F度		10		10	11	12	11		14	人	
20 -	1.0		11	12	11	14		移の分析・			達成状況	
10 -	10	10	11				運行開始から数年が経過し、利用の定着が図られたものと考えられる。冬期間等の天候により、利用者数が増減すると考えられ、30年度は積雪が少なく、利用者が減少した。					
	基準値	直 H27	H2	8 H29	H30	0 R1						

(エ)若者、女性、高齢者の活躍支援

(a)若者の活躍支援



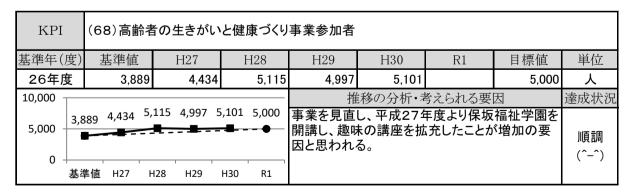
(b)女性が活躍できる環境づくり

KPI		国籍などに関 民の割合	発揮できる地	地域になって(いると				
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位	
26年度	年度 8.8 10		9.4	10.4	8.7		15.0	%	
20.0	10.0		15.0	推	達成状況				
10.0 8.8 0.0 基準			3.7 ● ■ 30 R1	年度によって若干の変動があり、男女共同参画 都市宣言や関連事業、日本語ふれあい交流支 援事業、人権擁護活動促進事業等を行っている が、まだ十分浸透しきれていないと考えられる。					

KPI	(66)男女~	(66)男女イキイキ職場宣言事業所数								
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位		
26年度	13	13	13	14	16		20	事業所		
20 13 0 基準値	13 13 		<u> </u>	登録方法が メージアップ は女性の登 くり等で、意	移の分析・ 簡易である。 にも繋がる- 用やワーク: 識改革や制 難しい一面も	とに加え、1 -方で、その ライフバランス 度改革を伴う	企業のイ 条件として スの環境づ 5もので、即	達成状況 横ばい ()		

(c)健康で元気な高齢者の活躍促進

· / Ferritary and a conference												
KPI	(67)シルバ	67)シルバー人材センター会員数										
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位				
26年度	335	310	286	303	321		400	人				
500 335		2	21 400		,, ,, ,,	考えられる要		達成状況				
300 基準値		86 <u>303</u> <u>3</u>	-部地域へ0	への会員募集)ダイレクトメ えたものとま	ールの送	横ばい ()						



- (3)安全・安心な暮らしを守る環境づくり
- (ア)既存インフラのマネジメント強化

() / Þ/ [] -												
KPI	(69)公共施設等総合管理計画の策定											
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位				
26年度	-	_	100	100	100		100	%				
200 —				推	達成状況							
100 0 基準値	10 0		100 ■ 100 ●	平成29年3.度までの30		(計画期間)	ま令和28年	順調 (^-^)				

KPI	(70)橋梁長寿命化修繕計画による修繕橋梁数 (5カ年累計)											
基準年(度)	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値	単位				
26年度	1	2	7	13	18		22	橋				
40				推	移の分析・お	考えられる要	因	達成状況				
20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	18 22 計画と同数で順調に推移している。(30年度は、 柏子所橋、轉ノ目橋、羽立橋、外割田2号線、源 助田橋)							順調 (^-^)				